

国際的な穀物価格の動向

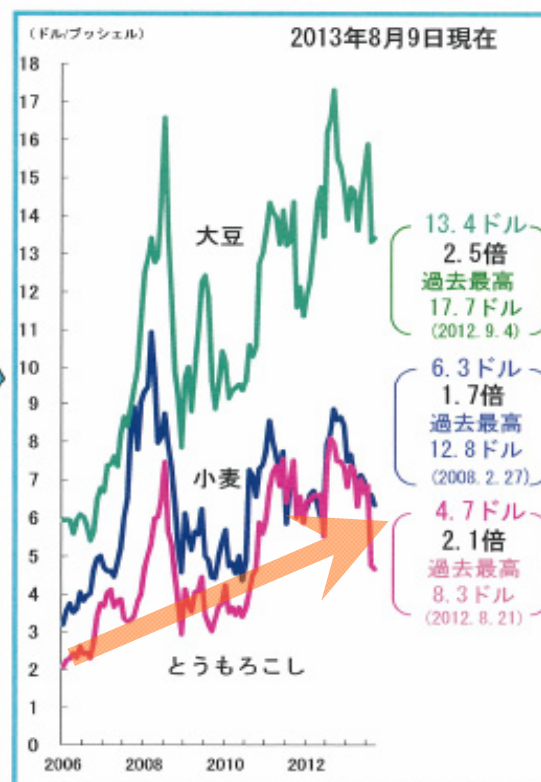
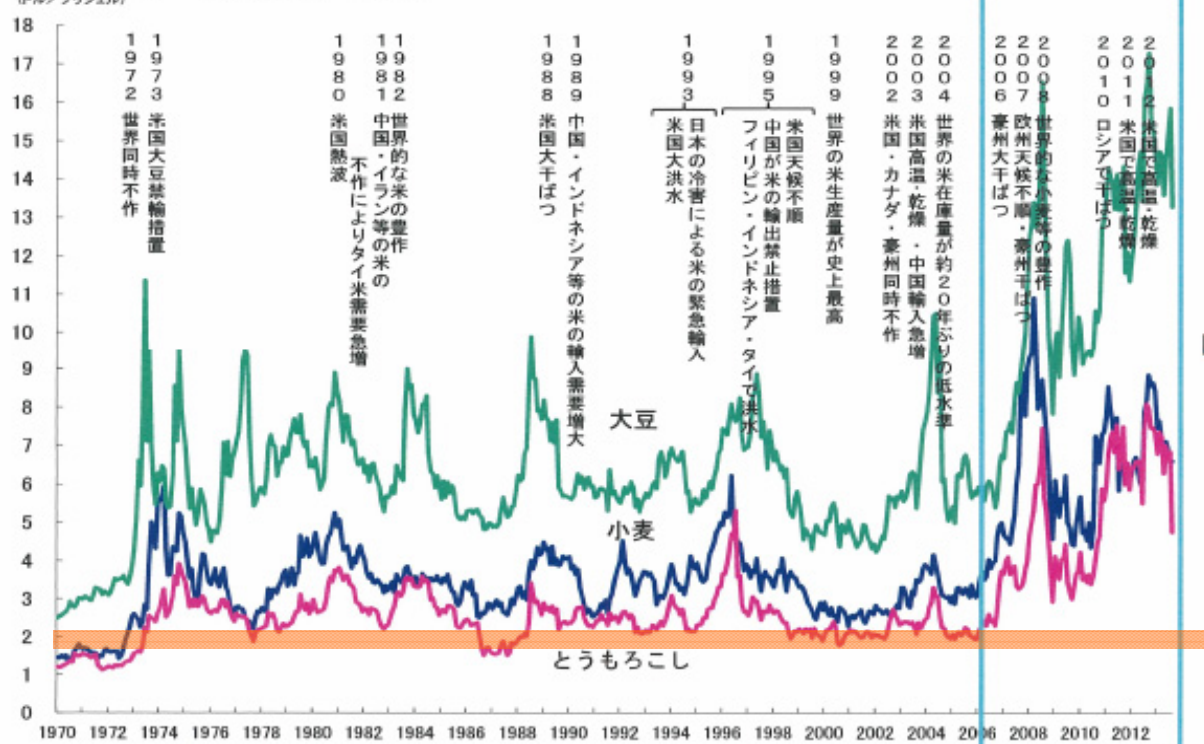
穀物等の国際価格の動向（ドル/ブッシェル）

○ 穀物等の国際価格は、2010年7月以降再び上昇し、現在は、2006年秋頃に比べ1.7～2.5倍の水準。

- 大豆は、2011年12月以降の南米の高温・乾燥、中国の輸入需要期待から高値で推移し、2012年6月以降の米国の高温・乾燥の影響から、7月以降最高値を更新、9月4日に史上最高値（650.7ドル/トン）。とうもろこしは、2012年6月以降の米国の高温・乾燥の影響から、7月以降最高値を更新し、8月21日に史上最高値（327.2ドル/トン）。その後、南米の増産見込みから大豆・とうもろこしは共に低下したものの、依然高値を維持。2013年7月以降、大豆・とうもろこし共に、米国産の豊作見込みから低下。小麦は、世界の在庫水準に大きな変動はないものの、2012年6月以降とうもろこしに追随して上昇。その後値を戻したものの、依然高値を維持。

□ 穀物等の国際価格の動向

(ドル/ブッシェル)



注：シカゴ商品取引所の各月第1金曜日の期近価格(セツルメント)

注1：各月第1金曜日に加え、直近の最終金曜日を記載。

注2：過去最高価格については、シカゴ商品取引所の全ての取引日における期近価格(セツルメント)の最高価格。

注3：図中の倍率は2006年秋頃に比較した直近の価格水準。